

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 5 月 2 日

事業所名 ぼえむ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	課題に取り組むスペースと、訓練室を分けている。	
	2	職員の配置数は適切である	83%	17%		児童の追加等で対応に追われる際には職員の配置数を再検討していく。
	3	事務所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%	0%		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	83%	17%	毎朝の朝礼、月に1回の全体ミーティングを行っている	口頭のみでのやり取りも記録していけるように改善が必要。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	83%	17%		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	83%	17%	外部との繋がりは密にできている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	月に1回程度、他事業所の講師を招いて行い、社内でも行っている。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	83%	17%		使用できていないケースもある。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	週替わりのプログラムや、長期休み等季節に合ったイベントも組んでいる。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	個別での課題等決めるなどして、目標を持って支援している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	67%	0%	楽しめるように工夫しながら行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	67%	33%	当日ではなく、翌日の朝礼時に行われることが多い。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	83%	17%		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%	0%			
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%			

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	学校、保護者様から情報提供して頂いたり、連絡帳などを使い行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%		現在受け入れはないが、通所される場合には連携を図れるように環境を整える。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	相談員等を介して行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	〃	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%		
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%	子ども部会、児童支援連絡会に所属	
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	連絡帳のほかにLINEを通じて全保護者様に行っている。	
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	67%	33%		個別であるため行き届いた対応が難しく、全体に向けて行えるように改善していく。
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に丁寧に説明し、理解していただいた上で契約を行っている。	
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%		
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%	希望される方が少ない上、コロナ渦の為現在は行っていない。	今年度は行っていく予定。
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	SNS,手紙等で活動概要・行事・変更等連絡を行っている。	
	34	個人情報に十分注意している	100%	0%	資料等も持ち出しせず、写真の投稿も顔を隠している。	
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		
非常時等の対応	36	緊急時対応、感染症対応を策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	契約時に説明を行っている。	
	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	50%	50%		職員間での対応の準備はしているが、定期的に訓練を行えるようにしておく。
	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	委員会設置、研修も行っている。	
	39	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	現在身体拘束の可能性のある児童の利用なし。	
	40	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	現在食物アレルギーのある児童の利用なし	
	41	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	83%	17%		